ともがき

第 226 号
2021 年
8 月号

日本共産党昭和区後援会だより

発　行：日本共産党
昭和区後援会
責任者：遠藤宜子
連絡先：昭和区南分町 3-3
日本共産党昭和区後援会
電　話：858-3255
ＦＡＸ：858-3256
【部内資料】

東京都議選の勝利を力に総選挙で政権交代を！

東京都議選では、日本共産党は改選18議席を19に伸ばし、3回連続の前進という半世紀ぶりの勝利となりました。また、立憲民主党などとの野党共闘で1～3人区の一部で候補者調整をした結果、共産・立民合わせて34議席と、自民の33議席を上回る結果となりました。野党間の信頼関係も深まりました。ご支援いただいた皆様ありがとうございました。

さぁ次は総選挙です。政権交代を実現するために、「小選挙区は野党統一候補」、「比例は日本共産党」と、皆さんの周りにご支持を広げてください！

99周年記念講演会

8月4日は党創立99周年記念リモート講演会があります。ご視聴下さい。

（前市会議員　柴田民雄）

「私たちの『表現の不自由展・その後』」の名古屋市による不当な展示中止に対する抗議行動
7/18(日)栄噴水広場

7月の世話人会議報告

7月7日の世話人会議は7つの後援会からの参加でした。活動交流では、松栄後援会では名市大病院の立体駐車場建設による騒音等の問題で地域をまわる計画があるとの報告。広路後援会は地域の企業の社長さんが自ら赤旗本紙を読みたいと「おためし」読みをされたので、購読のお願いに柴田たみおさんと訪問。「中小企業は真面目に税金を払っている」、「オリンピックは反対。共産党に頑張ってもらいたい」と対話が弾みました。また地域に出て行動。地域の人と会話が進みこれからも取り組みたいと。

表現の不自由展に行かれた世話人さんから、多くのパネル展示に、戦争における「日本の加害の歴史」を知ることが大切との思いを強くしたとの報告があり、是非展示を見に行こうと盛り上がりました。（その後破裂物が送付され、河村市長の不当な休館命令により中止となってしまいました）　　（事務局）

戦後76年 特集 平和のため

父の伝言

私の父は、小中学校の教師をして戦争には行かず学童疎開の引率をしていました。その父から、特に戦争中の話など具体的なことは聴いていませんでしたが、学校を退職した直後から、それまで書きためていた物をまとめ『やけあとのうた』という少年少女詩集を1976年に自費出版しました。それを名古屋市内の全小中学校に寄贈していました。60年代から続いたアメリカのベトナム戦争で、日本の米軍基地からアメリカの戦闘機がベトナムに向けて飛び立ち、日米安全保障条約を結んでいる日本は、間接的ながら戦争に加担していました。そんな動きの中で戦争体験者として“なんとかしたい” という強い思いがあったのです。

K.N 記

『やけあとのうた』＝はじめに＝より

「ぜったいせんそうをしない人になってもらうために」

この“やけあとのうた”をおくる。（著者:稲垣寿年氏）

両親に聞く戦争体験

60歳の定年で故郷の山口に戻り農業をしている両親にインタビュー。

父や母の青春時代は戦争一色で大変な時代を生き抜いてきました。

絵を描いたり、ピアノを独学で学んだり、レコード鑑賞、カメラ、本を読むこと、畑づくり、石垣づくり、何でも好奇心一杯で楽しみながら私たち兄弟8人を育ててくれた両親です。

年	月	できごと
1931（昭6）	.9	柳条湖事件（満州事変勃発）
1933（昭8）	.5	日中軍事停戦協定（塘沽停戦協定）
1937（昭12）	.7	盧溝橋事件（「支那事変」勃発）
1939（昭14）	.9	独，ポーランド侵攻
1941（昭16）	.12	真珠湾奇襲攻撃
1945	.8	日本，無条件降伏

十五年戦争（1931〜1945）／日中戦争（大東亜戦争）（1937〜1945）／太平洋戦争（アジア太平洋戦争）（1941〜1945）／第二次世界大戦（1939〜1945）

（人）	死亡者	負傷・行方不明
軍人・軍属	155万5308	30万9402
一般国民	29万9485	36万8830
総数	185万4793	67万8232

（『太平洋戦争による我国の被害総合報告書』）
注）1948年の統計のため，不十分な点がある。

沖縄戦での戦死者数

日本	18万8136人
正規軍	6万5908人
防衛隊	2万8228人
戦闘協力者	5万5246人
住民	3万8754人
アメリカ	1万2520人
陸軍	4675人
海兵隊	2938人
海軍	4907人

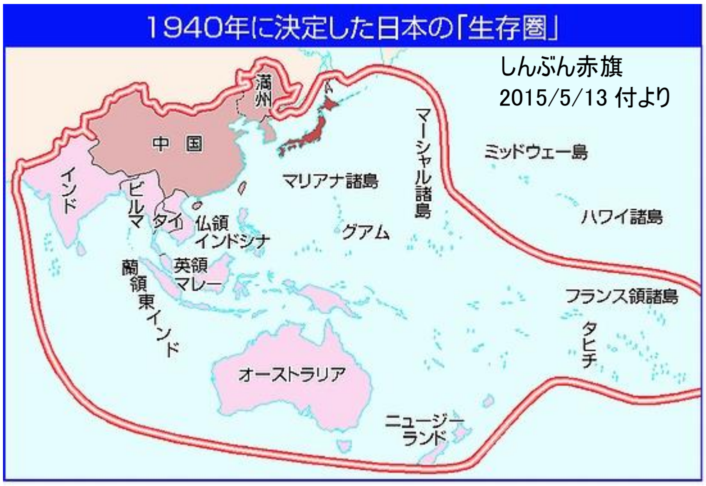
広島・長崎の被害

	広島	長崎
人員（人）	死亡者 11万8661 行方不明者 3677 重傷者 3万0524 軽傷者 4万8606 当時の人口 32万0081 5年以内に約20万人の死者	死亡者 7万3884 負傷者 7万6796 一般被災者 12万0820 5年以内に約14万人の死者
建物（戸）	全焼・全壊 6万1820 半焼・半壊 6040	全焼・全壊 1万4146 半焼・半壊 5441 一部損壊 全市全家屋

（岩波書店『広島・長崎の原爆災害』など）

浜島書店『新詳日本史』2004年版による

に戦争を語り継ぐ



父

96歳の父は、3人兄弟の真ん中。戦時中兄と弟を亡くしました。父は中学を卒業後、東京の電気専門学校を卒業し、中国の北京で発電所の仕事にかかわっていたそうです。20歳になった3月に召集令状がきて帰国し、四国の特攻基地に配属。入隊3日目の健康診断で肺浸潤が見つかり、体を治してから出直してくるようにと戻されたとのこと。みんながいろいろ慰めてくれたが、むごくて恐ろしい戦争に行きたくなかったので、心の中でほっとしたと。その5か月後終戦。

どんなことがあったの？と聞いても「あんたらは知らんほうがいいじゃろう」と語りたくない様子。

母

91歳の母は5人兄弟の長女で、戦後すぐに海軍のお父さんが病死。その後、15歳から10年間代用教員として、弟や妹たちの生活を支えるために働いたそうです。22歳の時、代用教員をしていた父と知り合い結婚。乳飲み子だった姉を用務員室に寝かせて授業したことなど、認知症になった今でも思い出して話しています。疎開して、食べるものがなくひもじかった、食べられるものはなんでも食べたと。勉強はできず、学徒動員で軍需工場へ行かされた。空襲警報が鳴り、みんなで防空壕に逃げ込んだとき、後ろにいた友達が爆撃で即死したことなど、ぽつぽつ語ってくれました。

二人からのメッセージ

今はあの戦争に突き進んでいた時代に似てきた。勝手な解釈で憲法を変え権力が戦争をさせようとしている。でもあのころとは違う。民主主義の時代なんだから自分の好きなことを見つけて何にでも挑戦できる。今その民主主義が壊されようとしている。気が付いたら戦争になっていたということが2度とないように、しっかり考えてみんな頑張ってほしい、との二人からのメッセージです。

（鶴舞学区　Y.E.）

格差拡大に反省なく
自民「資本主義」議連が発足

自民党の国会議員150人が参加して「新たな資本主義を創る議員連盟」を設立。(6月11日)「真の豊かさを知る日本らしい資本主義を」(安倍晋三前首相)、「コロナ禍で資本主義が試されている」。(甘利利明税制調査会長)

会長に就いた岸田文雄前政調会長は「アベノミクスによって企業収益は成果を上げた。自民党から新しい資本主義のモデルを発信したい」と発言。

設立趣旨には自民党政治のもとで格差と貧困を広げたことへの反省はなく、「分配政策の強化」を口実にして「セーフティネットの見直し」まで明記しており、社会保障削減などにつながりかねません。世界は「コロナを乗り越え、よりよい社会へ」と模索しています。格差と貧困を広げる政治では「新しい資本主義」は見えてきません。

赤旗本紙記事より一部割愛して転載しました

■ 7/17（土）ヤマナカ前宣伝

熱心にプラスターを見ていた人と対話になりました。元赤旗の読者さん。不破さんが好きでちょうど田原総一朗と不破さんの対談集を再読していたところとのことでした。伊川後援会のＳさんのお知り合いでした。

昭和区後援会 街頭宣伝・署名 行動予定

※雨天中止です

宣伝日	時間	場所	備考
8/3（火）	8:00～8:30	桜山駅	早朝地下鉄宣伝
8/10（火）	8:30～9:00	八事日赤駅	早朝地下鉄宣伝
8/17（火）	8:00～8:30	川名駅	早朝地下鉄宣伝
8/23（月）	8:00～8:30	鶴舞駅	東海ﾌﾞﾛｯｸいっせい宣伝
8/24（火）	8:00～8:30	御器所駅	早朝地下鉄宣伝
8/31（火）	8:00～8:30	荒畑駅	早朝地下鉄宣伝

～～～ 今後の予定 ～～～

8月4日（水）18:00～	日本共産党創立99周年記念講演会視聴会 <<ご視聴下さい>>	柴田事務所等各支部で開催 YouTubeも
8/8(日) 10:00～	総選挙勝利めざす昭和区党と後援会の決起集会	昭和生涯学習ｾﾝﾀｰ視聴覚室
8/9(月祝) 10:00～	原水爆禁止世界大会リモート	ぴーぷるセミナールーム
8/11(水) 14:00～15:30	後援会事務局会議	柴田たみお事務所
8/19(月) 12:00～13:00	集団的自衛権の行使に反対する昭和区の会ｽﾀﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ	御器所交差点